

JRAT 活動報告書

平成 30 年 4 月 24 日

都道府県	兵庫県	報告者	氏名 安尾 仁志	
団体名称/ 参加団体	兵庫 JRAT / 兵庫県リハ医会、兵庫県理学療法士会、兵庫県作業療法士会、兵庫県言語聴覚士会、兵庫県介護支援専門員協会			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の動き	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会実施	<input type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 30 年 4 月 15 日	実施場所	兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター	
概要	<p>兵庫 JRAT 主催研修を「災害時の時間経過で考える受援と支援」をテーマに開催しました。午前中に講義「災害時の時間経過で考える受援と支援」と講義「災害現場における指揮命令システム ～CSCATTT・ロジスティックとは～」を実施し、午後に説明「REHUG（災害対策本部疑似体験ゲーム）について」、REHUG ロールプレイ、グループワークを実施しました。</p>			
所感	<p>当日は医師、看護師、介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、柔道整復師、ガイドヘルパー、視覚障害当事者等、多職種から合計 40 名の参加がありました。午前中の講義で災害時支援に必要なことを学び、午後から REHUG を通じて具体的な災害時支援のイメージを体験することができたので、参加者にとっては非常に理解しやすい流れであったと思います。研修後のアンケートでも、「多職種連携を楽しめた。」「実習することで現場の動きが良くわかった。」「自分の職種の中でできる事を考えていくきっかけになった。」等、数多くの好評なご意見をいただきました。</p>			
今後の課題	今回の研修をより多くの方に受講していただくために、より一層の関係団体への広報・啓発と複数回の研修開催が必要と考えます。			
今後の活動予定	未定			

